

令和6年8月26日

令和6年度「文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業」 採択企画の決定及び採択企画発表会の開催

この度、令和6年度「文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業」の採択企画を決定するとともに、採択企画発表会を開催しましたのでお知らせします。

本発表会では、あわせて「クリエイター・アーティスト等育成事業（文化芸術活動基盤強化基金）」のうちメディア芸術分野で採択された取組も御紹介しました。

1. 趣旨

文化庁は、本年4月に令和6年度「メディア芸術クリエイター育成支援事業」における「国内クリエイター創作支援プログラム」及び「国内クリエイター発表支援プログラム」の企画募集を行い、両プログラムを合わせて過去最高となる216件の応募をいただき、選考を経て、この度40件の採択企画を決定しました。

また、本日、8月26日（月）、採択されたクリエイター等に御参加いただき、「クリエイター育成支援関連事業令和6年度採択企画発表会」を開催しました。本発表会では、去る6月に発表した「クリエイター・アーティスト等育成事業（文化芸術活動基盤強化基金）」において採択された29件の取組のうち、メディア芸術分野で採択された取組7件もあわせて御紹介しました。

2. 開催概要

クリエイター育成支援関連事業令和6年度採択企画発表会

会 場：文部科学省第2講堂（旧文部省庁舎6階）

日 程：令和6年8月26日（月）16:00～17:00

[プログラム]

◆都倉俊一文化庁長官からのメッセージ

◆①令和6年度「文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業」の採択企画及び採択クリエイター紹介【詳細は別紙1】

創作支援プログラム 16件

発表支援プログラム 24件

◆②文化芸術活動基盤強化基金 クリエイター・アーティスト等育成事業の取組紹介

（委託型）

・一般財団法人出版文化産業振興財団

《クリエイター等育成プログラム（マンガ）》

- ・一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会
《クリエイター等育成プログラム（ゲーム）》
 - ・公益財団法人画像情報教育振興協会
《クリエイター等育成プログラム（メディアアート、短編アニメーション）》
 - ・公益財団法人ユニジャパン
《クリエイター等育成プログラム（映画）》
（補助型）
 - ・株式会社ドワンゴ
《ニコニコ動画主催企画を介した若手クリエイター発掘および海外進出プロジェクト》
 - ・株式会社キネマシトラス
《グローバル・アニメ・チャレンジ》
 - ・一般社団法人渋谷あそびば制作委員会
《渋谷・京都を拠点に「GAME/ 遊び」を起点としたクリエイションとグローバルネットワークを形成する 404 Not Found・art bit 連携プロジェクト「ars ● bit（仮称）」》
- ◆応援メッセージ
- ・戸村 朝子（ソニーグループ株式会社 Headquarters 技術戦略部 コンテンツ技術&アライアンスグループ ゼネラルマネージャー／令和6年度メディア芸術クリエイター育成支援事業 アドバイザー）
 - ・伏谷 博之（タイムアウト東京代表、ORIGINAL Inc. 代表取締役／文化芸術活動基盤強化基金 クリエイター等育成プログラム審査委員）

- 別添資料 資料1 令和6年度「文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業」の採択企画及び採択クリエイター 一覧
- 資料2 「文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業」及び「クリエイター・アーティスト等育成事業（文化芸術活動基盤強化基金）」の概要

<担当>

文化庁参事官（芸術文化担当）

参事官 圓入 由美

参事官補佐 是永 寛志

メディア芸術発信係長 毛利 哲哉

研究補佐員 沼下 桂子

電話：03-5253-4111（内線5054）

■令和 6 年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業 採択企画

※《採択企画》採択者（採択者名 50 音順）

【国内クリエイター創作支援プログラム】

《手描きの計算》阿部 和樹
《Giant Micro Plastic》安西 剛
《石が見る夢》（仮）池添 俊
《Self-reference microscope》石橋 友也
《「記す」アニメーション》大高 那由子
《演画》木原 共
《歴史の終わり》榊原 寛／畳部屋
《別人電話ボックス》実験東京（安野 貴博＋山根 有紀也）
《プロジェクト『ZOKU』第一弾作品“stillhualian”》スタジオ石（代表：Mr. 磨）
《鎖に繋がれた犬のダイナミクス》藤堂 高行
《Flowers》深谷 莉沙
《野生のオーケストラが聴こえる》丸山 翔哉
《Media of Languge》Media of Languge（代表：村本 剛毅）
《群ロボットの動的配置を活用した磁性流体駆動に基づく実体ディスプレイの創作》（仮）森田 崇文
《風の目たち》吉田 山
《CultureHouse》渡部 恭己

【国内クリエイター発表支援プログラム】

《岩竹理恵＋片岡純也×コレクション 重力と素材のための図鑑》（仮）岩竹 理恵＋片岡 純也
《Trace 2022-2024》片桐 正義
《未自然彫刻》紀平 陸
《再来さんやー小さい芸術祭 2024 映像セクション》さんや駄々
《Is there そこにいる》芹澤 碧
《paper planes sphere》對中 優
《Efficiency of Mutualism》《Energeia Cycle 分解と循環のエネルゲイア》滝戸 ドリタ
《All is Love》辻 梨絵子
《Archival Practice for Site-Specific Works 3.0》長島 勇太
《〈Fire in Water〉の制作・展示》永田 康祐
《（実在しない）切り抜きチャンネル『20 分でわかるエマ・リーランド』》ヌマタ／沼田 友
《技術的嵌合地帯-TCZ》花形 模
《ドリームスケープ》原田 裕規
《AICOT 2024 in 海の中の美術館（新作展示）－水中と陸上における鑑賞体験の拡張－》韓 成南
《残波》松井 美緒
《みんなとてもあいまい》松枝 熙
《Green Diffusion》水落 大
《Echtzeitmusik Mizuki Ishikawa + Shun Momose サウンドインスタレーション》Mizuki Ishikawa + Shun Momose
《「解体」映像記録上映》持田 敦子
《Resonant Inscares》諸星 智也
《ホットサンドメーカーズクラブ》山口 壘
《Wanderers 展》油井 俊哉
《Water City－海面上昇想像図》吉田 裕紀
《グッドモウニング、ミクス・オアハカ／出雲 2024》渡辺 真也＋宇多村 英恵

■文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業とは

文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業は、若手クリエイターの創作活動を支援することにより、次世代のメディア芸術分野を担うクリエイターの水準向上を図るとともに育成環境を整備します。また、メディア芸術分野における国内外のクリエイター同士の交流を推進し、交流機会を通じた国内クリエイターの育成を促し、その成果を国内外に広く発信することで、我が国メディア芸術水準の向上と発展に資することを目的としています。採択された企画の「成果発表イベント」は2025年2月15日（土）～24日（月・祝）に、東京・京橋のTODA HALL & CONFERENCE TOKYO（東京都中央区京橋1-7-1 TODA BUILDING 4階）で開催予定です。

事業の詳細について：<https://creators.j-mediaarts.bunka.go.jp/>



〔昨年度（令和5年度）の様子〕アドバイザーとの面談やプレゼンテーションを経て、創作活動の成果やワークインプログレスの紹介をする成果発表イベント「ENCOUNTERS」を、2月に東京・表参道の表参道ヒルズ本館 B3F スペースオーにて開催しました。

■文化芸術活動基盤強化基金 クリエイター・アーティスト等育成事業とは

文化芸術活動基盤強化基金のクリエイター・アーティスト等育成事業（補助型・委託型）は、世界に誇る我が国のマンガ、アニメ、音楽、現代アート、伝統芸能等の分野において、今後、国内外で活躍が期待されるクリエイター・アーティストについて戦略的に選抜し、公演の企画、制作から海外展開までの一体的な活動を3年程度弾力的かつ継続的に支援します。クリエイターの海外展開を後押しすることで我が国の文化芸術の国際的なプレゼンスの向上、コンテンツ市場の拡大、海外との文化交流を通じた相互理解の促進を目的としており、29件のプロジェクトが採択されています。

事業の詳細について：<https://www.ntj.jac.go.jp/kikin/kiban/creator/>